

**よそ者の分類と変容に関する研究
—富山県高岡市山町筋地区を事例に—**

12110082 高畑早希

既存研究①

【よそ者関連論文①】

●上田・郡山(2016)

よそ者が地域住民と活動を進めていく際に、地域住民の行動変容ステージに合わせ、よそ者の多様な働きかけが求められるとの仮説を立て、研究を行う。



地域づくりの主体形成においては、**よそ者によるきっかけづくりや場所の提供**といった働きかけが特に有効であると指摘した。

既存研究②

【よそ者関連論文②】

●敷田(2022)

- ・既存の研究において、「よそ者」を区別することなく検討している点に関して、分析の不十分さを指摘。
- ・これまで一括りにされてきた「よそ者」を地域資源の所有と管理,そして商品やサービスの創出と消費を条件として分類し,内部者とよそ者の特性の違いを明らかにした。



全ての移住者が地域再生に貢献しているのではなく、
移住者の提供する地域向けのサービスや商品は、
地域にとってプラスの創出に結びつかないものが多いことを指摘

研究目的・方法

●研究目的

富山県高岡市山町筋地区を対象に、地域内に流入してきた「よそ者」に分類される人々に関して、敷田（2022）のモデルを参考に分類し、「よそ者」の差異を明らかにすると共に、存在が確認できたよそ者に着目し、地域に溶け込んでいく内部化のプロセスを明らかにすることを目的とする。

●研究方法

インタビュー調査に基づき、地域住民を分類。対象者は、

- ・小馬出町商業複合施設山町ヴァレーテナント入居者2名（新住民側）
- ・小馬出町土蔵造りの街資料館指定管理者1名（新住民側）

計3名

分類方法

●分類方法（敷田2022）

- ・「地域資源の所有・管理」と「商品・サービスの創出・消費」の2軸から、地域内の地域外関係者を合計四つの区分に分類した。
- ・外部から地域を訪問して短期的に滞在し出ていく、観光客のような「サービス消費者」
- ・地域に居住していても、資源を所有しているだけの二地域居住者や別荘所有者のような「資源所有者」
- ・地域システムの内部に入り込んでサービスを創出するが、地域資源を所有していない「サービス創出者」
- ・地域内部に定住して地域資源を所有し、そこからサービスの創出も行う「内部者」

対象者概要

	所属町	区分	対象者概要	地区内役割
土蔵造りの街資料館指定管理者	小馬出	資源管理者 (商品・サービス創出者から変容)	夫氷見・妻魚津出身。地区内企業との繋がりをきっかけに、オフィスを小馬出に構える。地区内で、体験型施設を経営。 その後、行政の提案により、旧室崎邸の指定管理者となる。	
山町ヴァレー テナント入居者①	小馬出	商品・サービス創出者	高岡市金屋町出身。高岡商工会議所青年部の産業観光委員会の一員。 山町筋の空きスペースの活用提案を受け飲食店を開業。	街づくり協議会参加無。 金屋町内会は参加有。
山町ヴァレー テナント入居者②	小馬出	商品・サービス創出者	高岡市出身。高岡市をスポーツで盛り上げたいと考え山町筋地区内移転。	街づくり協議会参加無

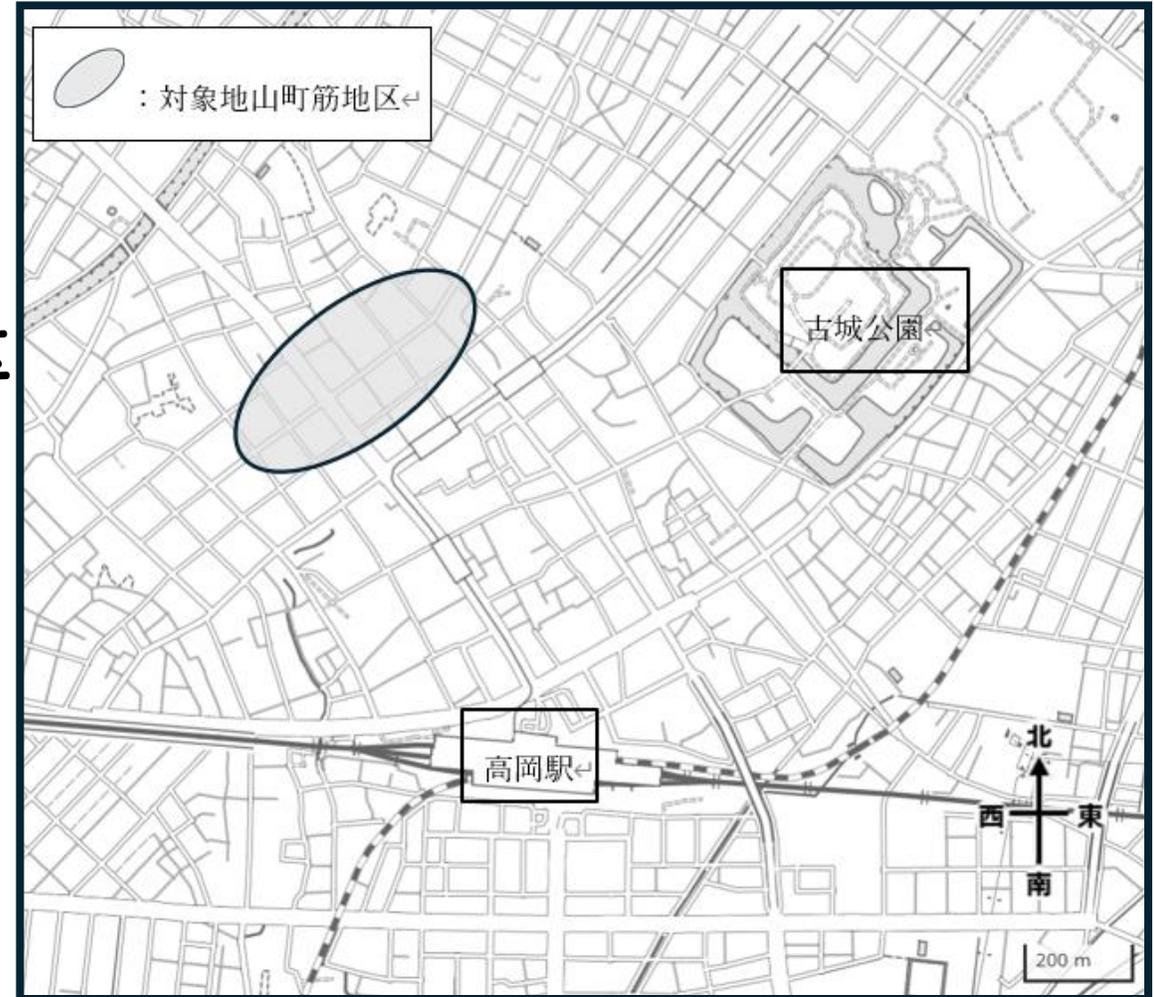
対象地域概要

●研究対象地域

富山県高岡市山町筋地区

2002年12月に重要伝統的建造物群保存地区に選定。範囲としては、主に御馬出町・守山町・木舟町・小馬出町。

2007年には、山町ヴァレーや西幟ビルなどの複合商業施設が開業。



調査結果（インタビュー調査）

【商品・サービス創出者】

対象者	クラフタン（竹中様） 小馬出	シリーズ（藤森様） 小馬出
建物概要	山町ヴァレー（テナント入居）	山町ヴァレー（テナント入居）
サービス創出	高岡市金屋町出身（銅器製造業の家系に生まれる）高岡商工会議所青年部の産業観光委員会の一員。山町筋の空きスペースの活用提案を受け、クラフタンを開業。	高岡市成美出身。元々別の場所で店舗運営。高岡市をスポーツで盛り上げたいと考え移転。
資源管理	街づくり協議会参加 無 （※声がかからないから参加しない）金屋町内会は参加有。	街づくり協議会参加 無 （※声がかからないから参加しない）
地域現状・活動への参加	山町筋全体としての横の繋がりなし。山町ヴァレーに関しては、月に1回話し合いを開催。	山町筋全体としての横の繋がりなし。山町ヴァレーに関しては、月に1回話し合いを開催。
転入者に対する考え方	商人の町である山町筋は、 プライドが高い と感じる。（金屋町の方が受け入れる雰囲気がある）	保守的な人が多い（自分たちのような よそ者は入りづらい 雰囲気がある）
観光発展に対する考え	自分は金屋町との回遊性意識しているが、地域住民は山町筋としての単独開発しか考えていない。	高岡の街をトレイルランを通して活性化させたい。（情報共有の場や地域活性化のため）

調査結果（インタビュー調査）

【資源管理者（商品・サービス創出者から変容）】

対象者	土蔵造りのまち資料館（東海様） 小馬出
建物概要	土蔵造りの街資料館（旧室崎邸）指定管理者として管理。
サービス創出	夫氷見・妻魚津。金七金物店HP作成に携わることをきっかけに、ハンブンコ（ギャラリー→セレクトショップ→体験型施設）を小馬出に構える。その後、行政の提案など旧室崎邸の指定管理者として戻る（2023春）
資源管理	地域住民を置き去りにした開発（山町外の人々の単独）では無く、地域住民の人と共に進む意識。（更なる観光地化×文化財の良さ・伝統を伝えていく◎）
地域活動への参加	金七金物店が町とのきかけを作ってくれた。祭りの手伝いを通して住民の理解を得る。
転入者に対する考え方	全体として、新しい人（町に対する理解が無い）が入りづらい町。一方で、理解を得れば歩み寄ってくれる住民特性。山町ヴァレーテナント者は、山の縄張りの手伝いなどに参加しない。（仲介会社の連絡不足？）→地域住民との繋がり無と考えられる

考察①

【サービス創出者から資源管理者への変容】

●敷田(2022)

「サービス消費者」から「資源所有者」など、よそ者からよそ者への変容は容易であるが、「サービス消費者」・「資源所有者」・「サービス創出者」など、よそ者から内部者である「資源管理者」への変容は難しい。



地区内における地域行事の役割

- ・土蔵造りの街資料館指定管理者…大家からの助言の元、御車山祭りの縄張りに参加
 - ・山町ヴァレー入居者…仲介会社は祭りの縄張りに参加, テナント入居者は参加無し
- ➡地域内の伝統行事への参加の有無が, 地域へ受容度合いの差に繋がると考えられる。地域の伝統的行事に参加することで伝統継承に繋がるだけでなく, 信頼関係構築の場に繋がる。

考察②

【サービス創出者から資源管理者への変容】

●敷田(2022)

「サービス消費者」から「資源所有者」など、よそ者からよそ者への変容は容易であるが、「サービス消費者」・「資源所有者」・「サービス創出者」など、よそ者から内部者である「資源管理者」への変容は難しい。



地区内における仲介者の役割

・街資料館指定管理者…地域特有の情報や慣習を学ぶきっかけの提供。重伝建地区についての知識を深め、地域の伝統行事(お雛様・天神様等)の保存継承にも積極的な態度有

・山町ヴァレー入居者…仲介的な役割を果たす存在があまり機能していない。

➡単に資源を所有するだけでなく資源を維持管理していく上で、地域内の内部者と協働で仕事を進めながら生活の心得を得ていくことが必要。

よそ者と内部者を繋げる役割を果たす仲介者的な存在が同地域でも重要な存在。

参考文献

- 上田祐文・郡山彩. 2016. 地域づくりに関わる住民の行動変容プロセスとよそ者の役割. 農村計画学会誌
- 敷田麻美. 2022. 地域再生におけるよそ者の分類と変容に関する研究. 日本地域政策学会
- 竹下聡美. 2006. 屋久島へのIターン移住における仲介不動産業者の役割. 人文地理第58巻
第5号
- 徳野貞雄. 2002. 現代農山村の内部構造と混住化社会